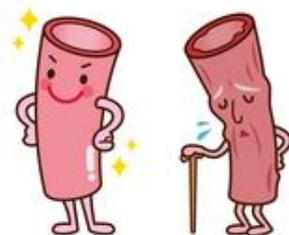


あなたの血管年齢を 知っていますか？

血管の老化

「人は血管とともに老いる」と言われている通り、私たちの血管は加齢とともに老化します。しかし、食生活や運動不足などの生活習慣の乱れにより、血管の老化が速く進み、実年齢より血管年齢の高い人が増えています。



若い血管はしなやかですが、老化すると弾力を失って硬くなります。すると、血流が悪くなり、肩こりや腰痛・冷えなどの不調が現れます。

さらに、動脈硬化が進行すると、心筋梗塞や脳梗塞など、命に関わる病気になるリスクも高まります。



自覚症状がなく、気付かないうちに少しずつ老化が進んでいく血管だからこそ、一度血管年齢を調べてみてはいかがでしょうか？

血管年齢は ABI/PWV 検査で分かります！

ABI とは足首と上腕の血圧の比のことで、動脈の狭窄や閉塞を評価する指標です。健康人では足首の血圧は上腕の血圧よりやや高くなっていますが、下肢血管の動脈に狭窄や閉塞があると、その部分の血流が悪くなり血圧は低くなります。このことから上腕と足首の血圧を同時に測定することで血管の狭窄の程度がわかります。

PWV とは心臓の拍動が動脈を通じて手や足に伝わるまでの速度です。動脈が硬いほどその速度は速くなることから、測定により動脈硬化の程度がわかります。実際に測定して出た PWV 値が、年齢平均値のどの年齢の値に近いかで血管年齢を推定しています。

測定方法は、ベッドの上で仰向けになり、両側の腕と足首に、血圧計の帯（カフ）、心音マイクを装着します。ABI と PWV を同時に測定し、その結果をコンピューターによって数値化します。所要時間は10分程度です。



ABI/PWV 検査について詳しく知りたい方は、当院で検査を受けることができますので、ぜひご相談ください。